

# 小磯良平の足跡後世に

## 神戸・中央区 山本通の地域住民ら

神戸を拠点に洋画壇に大きな足跡を残した画家小磯良平（1903～88年）のアトリエがあった神戸市中央区山本通1の「山本通東公園」に、地域住民らが記念碑を建てる。看板状で小磯のサインの複製と解説文を載せ、今月下旬に設置する予定だ。住民たちは「多くの名作が誕生したアトリエ跡を広く発信したい」と話す。  
(仲井雅史)

## アトリエ跡に 記念碑建立へ

山本通のアトリエは1932年、小磯邸の南側に新築された。45年6月5日に空襲で全焼するまでの間、「斉唱」をはじめ多くの代表作が生み出された。洋風の建物で、内部は外国の調度品で飾られていたという。

戦後、小磯は東灘区にアトリエを新築（現在は市立小磯記念美術館に移築）するが、「自分のアトリエはあそこだった」と、山本通のアトリエを生涯愛し続けた。現在、小磯邸跡はバプテスト教会、アトリエ跡は山本通東公園になり、庭木や石垣の一部が残るのみとなっている。

記念碑設置は、近くの一宮神社の宮司山森大雄美さん(75)が発案し、地元自治会などが賛同。5月には市の補助金交付が決まり、計画が本格化した。高さ約2メートル、上部に駒形の案内板が付くデザインになる予定。

山森さんは幼いころに

アトリエと小磯邸を結ぶ通路前で当時の思い出を話す山森宮司。通路は現在ふさがれている。山本通東公園



小磯邸に遊びに行ったことがあり、「果物の木や花がいつぱいの庭がとてもきれいだっただ」と振り返る。また、空襲で全焼した跡は子どもたちの遊び場だった。しかし、近年では地元でも小磯邸とアトリエがあったことを知る人が少なくなった。当時の資料も少ないという。

山森さんは「偉大な画家の足跡を記録し、後世に伝えたい」と話している。

## 韓国の歌20組

### 高砂の石野

韓国の歌謡曲を通してに

日韓の交流を深める「K OBE2012韓国うた 神

コンテスト」が8日、神戸市中央区の神戸新聞松の

方ホールであった。神戸、ト

岡山の手選を突破したア、日コリアンやK-POPをフ

アンら計20組が自慢の歌声を披露し、高砂市の彩

石野幸子さん(64)が大賞